

2018年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
04010101

1. 計画名称

農業振興ビジョン

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	認定農業者及び担い手となり得る組織等には機械補助による生産力の向上が進められている。優良農地の保全対策として湿田対策の事業、獣害対策の電気柵補助等が予定されているので、施策はおおむね順調に実施されている。
今後の重点化施策番号	1	説明	事業実施状況としては好評であるが、担い手数が十分に確保できていない状況。新規就農者を確保しながら既存農家の生産力向上を図ることで、担い手となり得る農業経営体数を維持することが必要である。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	農業経営体の確保・育成	順調	認定農業者に対して農業用機械等の購入補助事業と農業研修生に対する研修費補助事業を創設した。機械補助は、予算を上回る申請があり補正予算対応をした。新聞報道にも取り上げられ、農業関係者から高い評価を得ている。	集落営農組織の設立に向けては1地区から相談があり、説明も行ったが、地域からの理解が得られなかった。地域の理解を得ることが難しい。	認定農業者の機械補助や研修生に対する研修費補助は、次年度も継続していく。集落営農組織の設立に向けての取り組みは、改善策を簡単には見いだせないで、見出せるように議論を深める。
2	農業生産力の向上	順調	認定農業者に対して農業用機械等の購入補助事業を創設した。予算を上回る申請があり補正予算対応をした。新聞報道にも取り上げられ、農業関係者から高い評価を得ている。	小規模農家等に対する支援事業として、取り組んでいるJAの農機レンタル事業の支援以外に支援の幅を広げるために他の事業を検討する。	小規模農家(兼業農家、自給的農家等)へのヒアリングを行い、必要としている支援事業を検討する。
3	優良農地の保全と活用	おおむね順調	用水路等の施設の改修や改良の要望は予算以上にあるため、優先順位をつけて、順次対応している。湿田対策は制度設計を行った。鳥獣被害対策事業では獣害防護柵沿と農地の山林の間に緩衝帯の設置を合計4.21ha行った。	用水路等の施設の改修や改良の要望は年々増えており、予算の範囲内で事業の遂行は難しい状況になっている。個人が設置した電気柵や防除ネット等の購入費用一部補助を検討する。	湿田対策の支援事業を実施する。電気柵や防除ネット等の購入費用一部補助を既存の制度を見直し、使いやすい制度設計にする。
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称 農業振興ビジョン推進委員会 開催回数 2 参加延べ人数 39	地域の現状を支える法人及集落営農組織等に対する支援は継続が必要である。大型農家はもちろんのこと、小規模農家や農作業受託組合等へも農地荒廃抑制や維持管理等を対策するという観点から支援が必要となってくる。	現状の施策は農業振興ビジョンの柱に対して幅広い対応が出来ていると考えている。農家の意見を取り入れながら、農業生産力の向上に寄与する支援対象に対し柔軟に対応していきたい。
関連市民団体等名称 茅野市農政審議会 開催回数 1 参加延べ人数 24	諏訪管内で茅野市は農業支援が低い状況であったが、改善されていると感じる。鳥獣被害等も電気柵等個人への支援であれば活用できる。	農業支援策を充実させることが期待されている。地道な農業支援が農業生産力の維持に繋がると考えます。鳥獣被害は広域では一定の効果が挙げられているが、被害の出やすい場所や品目などに対して柔軟に対応していきたい。
関連市民団体等名称 茅野市産業振興ビジョン推進委員会 開催回数 1 参加延べ人数 14	特にありませんでした。	皆さんに伝わり、理解をして頂ける様に対応していきたい。

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」